

新春インタビュー

2022年の課題と方針

ウエブ活用し活発な活動

4月の総会は対面で計画

池田 和隆氏
全国鐵構工業協會 青年部会 会長



——昨年の活動について。

池田 ひたすらウェブ会議を推し進めた印象だ。理事会をはじめとする会合を毎月、多いときは月に2回、3回と重ね、事業の推進と情報の共有に努めた。5月に開催した第30回通常総会もウェブ上で行つたが、それに先立ち4月に3地区ウエブ会議とブロック長ウェブ会議を開いた。これは2年連続で中止した全国会長会議の代替事業で、全国を3地区に分けた会長会議で業界の課題や今後の青年部の在り方等を討議し、各地区の意見を持ち寄つて改め

てブロック長会議を開いた

もの。また10月には初の試みとして「WEB講座」を企画し、日建設計の加賀美安男様に「スカイツリーと鉄骨」をテーマにご講演頂いた。

——具体的な事業活動は。

池田 昨年に引き続き、企画し、日建設計の加賀美安男様に「スカイツリーと鉄骨」をテーマにご講演頂いた。

——対面活動は。

池田 全国的なコロナ感染者の減少傾向を受け、第15期として初の対面理事会を昨年11月に九州で開催した。われわれが役員に就いて約1年半、その間に理事会をウェブ上で20回以上開いてきたが、直接顔を合わせての会合は、やはり感慨深いものがあった。

——今年の全国大会は。

池田 現時点では、4月に大阪で対面での開催を予定している。コロナ対策のため来賓等は招かず、全国の新旧会長、同ブロック長、同全青会役員に参加者を絞り、総会と全国会長会議のみ開く計画だ。会長会議では青年部の魅力とその伝え方をテーマに議論する。

——今後の抱負を。

池田 コロナ禍での活動の中で、ウェブ会議の有効性・利便性が確認できた。全青会は全国組織であるがゆえに、従来は対面会議の回数が限られ、理事間の意思疎通や事業の進捗に思いりな発信に注力した。また、業界の一般周知促進に向けた全青会公式チャンネルの視聴者・登録者数の増加策として、YouTube広告を実施。さらに継続事業であるノズルチップ回収による慈善活動や溶接欠陥サンプルの貸し出しなどを展開した。ノズルチップにバトンを引き継ぎたい。

第15期の任期も残り少なくなつた。コロナ新株の発生など不安材料もあるが、極力プラスの部分に目を向けながら、滞りなく第16期にバトンを引き継ぎたい。

また全国の会員の皆さんの感謝申し上げたい。(池田

71) は例年通り収集・換金し、今年度は日本車いすテニス協会に競技用車椅子を寄贈する計画だ。

——今年の全国大会は。

池田 現時点では、4月に大阪で対面での開催を予定している。コロナ対策のため来賓等は招かず、全国の新旧会長、同ブロック長、同全青会役員に参加者を絞り、総会と全国会長会議のみ開く計画だ。会長会議では青年部の魅力とその伝え方をテーマに議論する。

——今後の抱負を。

池田 コロナ禍での活動の中で、ウェブ会議の有効性・利便性が確認できた。全青会は全国組織であるがゆえに、従来は対面会議の回数が限られ、理事間の意思疎通や事業の進捗に思いりな発信に注力した。また、業界の一般周知促進に向けた全青会公式チャンネルの視聴者・登録者数の増加策として、YouTube広告を実施。さらに継続事業であるノズルチップ回収による慈善活動や溶接欠陥サンプルの貸し出しなどを展開した。ノズルチップにバトンを引き継ぎたい。

また全国の会員の皆さんの感謝申し上げたい。(池田

71) は例年通り収集・換金し、今年度は日本車いすテニス協会に競技用車椅子を寄贈する計画だ。

——今年の全国大会は。

池田 現時点では、4月に大阪で対面での開催を予定している。コロナ対策のため来賓等は招かず、全国の新旧会長、同ブロック長、同全青会役員に参加者を絞り、総会と全国会長会議のみ開く計画だ。会長会議では青年部の魅力とその伝え方をテーマに議論する。

——今後の抱負を。

池田 コロナ禍での活動の中で、ウェブ会議の有効性・利便性が確認できた。全青会は全国組織であるがゆえに、従来は対面会議の回数が限られ、理事間の意思疎通や事業の進捗に思いりな発信に注力した。また、業界の一般周知促進に向けた全青会公式チャンネルの視聴者・登録者数の増加策として、YouTube広告を実施。さらに継続事業であるノズルチップ回収による慈善活動や溶接欠陥サンプルの貸し出しなどを展開した。ノズルチップにバトンを引き継ぎたい。

また全国の会員の皆さんの感謝申し上げたい。(池田